

第4回日本・PIF首脳会議 (太平洋・島サミット)

太平洋諸島フォーラムの12島嶼国及び2地域の首脳と日本の総理が一堂に会する首脳会議(豪、NZからは外相レベルで参加して来ている)。

第4回サミットは5月26 - 27日(於:沖縄)。共同議長は小泉総理大臣とソマレ・パプアニューギニア首相。

太平洋諸島フォーラム (PIF)

12の太平洋島嶼国と2地域は豪州、
ニュージーランドと共に地域的協力の
枠組みである「太平洋諸島フォーラム
(PIF)」のメンバー。

太平洋島嶼地域の諸課題への取り
組み = 地域的協力の枠組み

太平洋・島サミットの歴史

1987年1月 倉成ドクトリン(5原則)発表
(5原則:独立性・自主性の尊重、地域協力への支援、
政治的安定の確保、経済的協力の拡大、人的交流の促進)

1989年 第1回SPF(現PIF)域外国対話に参加
以後、毎年閣僚級(副大臣等)が参加。政策対話を促進

1997年10月「第1回日本・南太平洋フォーラム(SPF)首脳会議」
(於:東京、橋本総理、高村外務政務次官)

2000年4月 「第2回日本SPF首脳会議(太平洋・島サミット)」(於:宮崎)
「太平洋フロンティア外交」提唱(森前首相)
「宮崎イニシアティブ」

2003年5月 「第3回日本・太平洋諸島フォーラム(PIF)首脳会議(太平洋・島サミット)」(於:沖縄)
地域開発戦略「沖縄イニシアティブ」重点5分野における日・PIF共同行動計画

太平洋諸島諸国の課題

<< 政治的に独立を達成した太平洋島嶼国の課題 >>



経済的自立の達成

3つの障害に直面

辺境性・・・国際社会における辺境性(太平洋地域の小島)

狭隘性・・・経済の小規模性(国内市場の狭さ)

拡散性・・・地理的拡散性(広い海洋に散在する領土)

太平洋諸島諸国の脆弱性

環境

地球温暖化の影響、ゴミ処理問題、サンゴ礁・森林破壊
災害(毎年訪れるハリケーン被害は、特に中小島嶼国で甚大)

グローバル化への対応の遅れ

国際経済の変化への対応、ICT等先端技術への対応の遅れ
組織犯罪(麻薬製造工場、大規模な麻薬密輸の摘発)

新感染症等の対策

HIV/AIDSの拡大状況は、MDGs目標5達成率からいって「脅威」ランク。
SARS, 鳥インフルエンザに対する高い不安。

「良い統治」が未成熟

社会・経済的不公平の存在、紛争(部族対立)

パシフィック・プラン

4つの優先目標実現のための方途策定

「経済成長」

貿易投資拡大、インフラ開発、共同サービス提供、
開発のための民間部門参加等

「持続可能な開発」

貧困削減、資源・環境管理、保健、教育、文化価値
・アイデンティティの保護

「良い統治」

資源利用・管理にあたっての透明性、信頼性、平等
性、効率性の改善

「安全確保」

安定と安全のための政治社会的条件の改善

我が国の対太平洋島嶼国外交の達成目標

- ・日本の近接地域における親日的国家群の確保
(日本の安全保障)
- ・国連等国際場裡における日本の立場への一層の
理解と支持の確保(支持母体)
- ・日本がこの地域に依存している資源・輸送ルート
の継続的な確保